

々々聞けば百圓の金も出納に吝なるのみか自家の子弟の教育に金を愛しむ者さへなきに非ず散財の不釣合も亦甚だしと云ふ可し尙ほ其甚だしきは純然たる洋學社會の人が内國に學び又外國に遊學して成學漸く頭角を現はし相當の地位を得て相當の家を成したる處にて従前は貧乏にて百事不如意なりしが今は多少の家産もあり必ず何か學問に専らざるも可しなせ世人の窮に豫想する所は案に相違し洋學先生の遺中漸く温なると同時に漸く物政寄の熱を催し古物等可し古器古書畫畫可し挿花の優美、茶の湯の閑雅、器曲の高尙、義大夫の風流等自から日本特色の美術にして之を西洋諸國の教に比すれば同日の談に非ずなきを稱し分別盛りの大人が小兒の戯に狂して驚に文明の極意を取取るる可笑しけれ思ふに彼等の文明思想は漸く佳境に入つて其質は却て佳境を通過し玄之又玄に達して遂に玄妙幽微の邊に消滅し去りたるものなる可し文思既に去れば讀書研究の念なきも自然の結果にして先生等の近況を窺ふに爾來兎角多忙にして洋書を繕く餘暇なしと云ふ斯くては斯く世間一般の學事に心を寄せて斯道の推進を謀るが如き始んば疎忽の事にして今は則ち心身共に學界を脱したるものと云ふも不可なし、歐米社會の大人は義務に忙しくする其忙中尙ほ書を讀み理を講じて世の爲めにするの常なり在昔米國のフランクリンは獨立前後の騒亂中に理論上の發明して學術社會を益し今の英國のグラッドストーンは八十歳の身を以て政論に終なき宗教論を記したるあり尙ほ下りて取引所の仲買が教育論を論じ吳服屋の主人が物理學を著述するが如き敢て稀有の談に非ず畢竟文明國人の胸中餘暇を存して少小の文思常に身を去らざるものと云ふ可し、左れば彼等が少小の時より辛苦清淨を勉めたる其洋學は恰も是れ尙古風の東洋男兒に若せたる文明の鏡金に異ならず身を官民の實務社會に出し俗事俗情以て之を磨按すれば鏡金は忽ち剝離して本來の古鏡を放ち奥氣紛々人の嘔吐を促がする是非なき次第なれ斯く云へばとて吾々も共に日本國民にして因より概して其舊を排斥するに非ず舊套古事古物の中自から取る可きものあるは分り切たるものとて此邊の取捨を知らざるに非ずと雖も維新國たる日本の今日正に新文明の經營に忙しく之を先導して至る所に至らむるは文明學者の天職にして畢生の力を以て眞一文字に進むも尙及ばざるを憂ふる此大切なる場合に學者輩が進歩の勢に堪へずして途中に挫折し却て自から小兒の戯を演ずるが如き思想の不平均にして事物の緩急輕重を誤るものと云ふ可し

社説

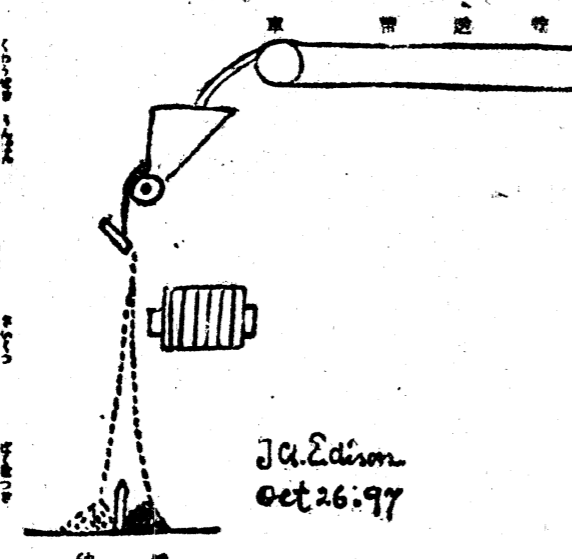
日本の文明未だ誇るに足らず

世には舊風を繼承して西洋の新事物を模倣し只自國の美を吹聴して自尊排外の氣風を養はんとするものあり新文明の先鋒たる可き教育社會すら之に感染して國粹熱の流行する際、日清の戰爭あり首尾よく日本の勝利に歸したるよりいへば、自國優性を起して日本は實にエライ國なりとて驕に得意を耀するものなきに非ざれば我輩は爾來す、歐化の勢を感ずるものなり日本舊來の事物に於て大に誇る可きものなきは勿論、僅に學び得たる西洋の文明も尙ほ甚だ幼稚にして一として満足す可きものなし近來實業は大に發達したりと云ふと雖も西洋に比すれば殆んど兒童のみ例へば文明の骨子たる鐵工の如きは船艦にても汽車にても將た紡績印刷の諸機械にても概ね外國より輸入せざるを得ず蓋し盛ならざるに非ざれば専ら生絲を製するのみにて織て以て世界の市場に出すものは其だ少な紡績業は次第に擴張せらるるれども只粗大なる絲を製して僅に支那の需用の一小部分を充つのみ未だ綿布を織て外品と號ふの域に達せず貿易は年々進歩の兆ありと雖も我は只産して顧客を待つのみ、出るも入るも皆外商の手を經ざるを得ず鐵道は日に延長せざるに非ざれば其車輛と云ひ取扱方法と云ひ殆んど創始の際と同様にして何等の進歩改良を見ず近頃日本より米國の或る會社に注文したる汽車の如き彼の國にては既に廢物に屬したる舊式のものにして會社に於ては特別に製造せざるを得ず大に迷惑したりとの奇談もあるのみならず現に京濱間鐵道の如きは他の模範たる可きものなるに其運送法の不始末は横濱商業會議所の陳情書を見るも明白にして或は鐵舟に依り若しくは馬背、荷車に託して運送する方事安全にして迅速なるものと云ふも只可きのみ航路の如きも近年聊か發達の兆なきに非ざれば内外航路に對して厚きに護るるにも拘はらず殆んど出入賃はすして前途困難の色あるのみならず港を見れば何れも設備全からずして數千里の波濤を數週間に航しなから其荷物も墜落するに數十日を費すが如きは如何にも堪へ難き次第と云ふ可し有形文明の有様は斯の如くにして更に無形の事物を見るに亦た幼稚と評す可きのみ政治は多少面目を改めたるに相違なしと雖も經濟を得て其始末に窮し朝鮮を驅て他國の手に歸せしめたるが如き如何にも不手際至極にして斯種の外ある可らず之を露國が一兵を動かさずして半島王國に羽翼を張る滿清政府を掌中に弄する手腕に比すれば同日の談に非ず又西洋諸國は世界の隅々まで宣教師を出して教化に盡力すると共に印度に飢饉あれば金銀を投じて之を救恤し露國人民の怨毒も他國の事として開港しにせざるに反して日本は古來義侠の國と稱しながら慈善は未だ國內不幸の民を救ふに足らず宗教は同胞すら憐れ度するの力なき外人を教化せんなきと思ひも奇らず我は漸く文明の門に片足を入れたるのみ成は僅に文明の雛形を學び得たるに過ぎずと云ふも可なり戰爭以來西洋人の中にも新強國なき稱して我を驚ひるものなきに非ざれば是れは單に一時の世辭か然らざれば只是れまで支那朝鮮と同様の國と思ひしに安んずるに非ざる其證據は今國獨逸が我面前に於て傍若無人に運動して我に一言の挨拶なきを見て明白なる可し左れば今日日は汲々として西洋の文明を學び一心不亂に進む可きの時にして我に國自慢なきして驕る可き決に非ず會て遠東の運命を迫まられしときは國民みな風潮を呼びたれども爾來形勢はますます切迫して獨り遠東の事のみならず或は更に大なる困難に遭遇するものと云ふ可らず學者も政治家も武人も實業家も各々生死に勉勵して富國の實を講ふとて所與

なる可し自國の美を稱賛して自から誇るは或は人の情に快きものならんれども國粹熱の結果は自尊排外にして自尊排外は文明の進歩を障礙するものと支那の現狀に徴して明なり深く戒めざる可らず日本人民は本來愚鈍に非ず今日の文明は殆んど文明の雛形に過ぎざるも會て支那の文明を學で其右に出でたるが如く西洋の文明を學で遂に又西洋を凌駕するものとある可し今日の要は只目的の地に向て急進直行するに在るのみ

エヂソン氏の電氣選礦

エヂソン氏が電氣を利用して下等鐵礦を廉價に選礦する方法を發明したる由は既に此報の紙上に記したるが氏が此發明を計畫したるは八年前ニュー・ウェーバーに於てオグデンの廢坑を買ひたるが始めにして同坑山は鐵屑凡そ三千トニに亘り隨分廣大なる鐵山なれども之より産出する鐵は極めて下等なる磁鐵なるが上、其地たる海面を抜くは千五百呎の高にある山地なれば運搬の不便も亦少からずして之を開掘するも結局收支相償はざるべしと云ふを以て最早願する人もなくして全く放棄せられたるものなり然るにエヂソン氏は之を購入し人力を用ひて採礦運搬を行へば利益をも見るものと能はざるなれば自動作用を以て一切の事業を營はば何ぞ成功せざるの理あらんやとて専ら之が工夫を運らし尙ほ其後には所々の廢坑をも買入れて一萬六千トニを有するに至り頻に其方法に苦心したる結果遂に完全なる設計を得、先づ前に挙げたるニュー・ウェーバーの鐵山に一個の工場を設立せり此鐵山は礦石少くも二億噸を有すると推察して之よりは約五千萬噸を得べし故にエヂソン氏の成功は實に同氏に巨大の産を爲さしむるものなりと云ふ設立以來同工場は日々千噸乃至千五百噸の鐵を運搬し居れり今其工場設計を略述すれば鐵山には旋回せる長き鐵道を布設し之を



以て礦石を運搬せしむ鐵石を採掘するは鐵礦を以て鐵礦製せしむると共に九十三噸の蒸氣機ありて之を捲上げ鐵道上に留むる貨車内に之を投ず此鐵道は一時に三噸の鐵石を捲上げ之が定量を捲ひて貨車に投ずるまでは毎回十秒時を要するのみ此貨車に懸架されたる鐵石は移されて衝動所に入り此處に二時時にして衝動の鐵石は全く捲きさらる此衝動せられたる鐵石は尙

高ある建物の頂す此落下する百たれば幾分は此分は妨げらるし以て造りたる區より砂、鐵ども方積上は是は最も妙なれば可融合所に至りある片に鑄固要し凡そ百十分しては僅に百三手をして鐵鐵又

新年 明年一月一日の

大新聞を愛す 精巧優美なる者には無料 金十二圓を申受

新年 新年の時事新報 餘額なく左の通上至急御申込み 一月一日 一月二日 但し一月一日 済みとなりた

歳末 自働なり左れを器械の破損を一年一萬四千圓を電氣力を發生ものなりとなり為め氏が自ら書る略圖は茲に掲高は追々増加たりと云ふ

○神戸の第二 千五百八十四圓を